

令和5年度事業報告

概要

元気で働く意欲のある高齢者の知識や経験を活かし、地域活性化に寄与し「生涯現役」を合言葉に、益々活躍の場を提供できるように、会員の拡大・就業機会の確保を重点課題として、会員並びに役職員が一体となってシルバー人材センター事業における諸活動を実施いたしました。

令和5年度においては、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に緩和されましたが、発注先の関係者や会員にも感染者が発生し、また基幹産業の不振、発注先の減少・規模縮小、歯止がかからない人口減少、そして高齢者の労働環境の変化等により昨年同様センター事業は大変厳しい影響を受けました。会員数は対前年度9名の減となり退会抑止効果が表れ始めましたが、受注件数・就業延日人員・契約金額はいずれも前年度実績を下回る結果となり、コロナ禍後の回復基調には及ばない結果となりました。

事業概要

項目	令和4年度実績	令和5年度実績	前年度差異
会員数	428人	419人	△9人(△2.1%)
受注件数	901件	721件	△180件(△20.0%)
就業延日人員	27,838人	25,432人	△2,406人(△8.6%)
契約金額	162,698千円	150,546千円	△12,152千円(△7.5%)
就業率	73.8%	68.7%	△5.1ポイント

事業の内容

1 安全・適正就業の推進

草刈業務シーズン到来前に安全就業研修会を実施し、安全・適正就業強化月間中には安全就業推進委員会による就業先巡回パトロールを実施するなど、会員並びに発注先にも安全就業への理解と協力を要請しました。

また、「くしろ市民健診の案内」や「健康ひとくちメモ」を会報掲載し、健康管理・増進についても周知をおこないました。

更に、シルバー人材センター適正就業ガイドラインの周知活動を継続し、高齢者には向かない仕事は受注しない方針とするとともに、ローテーション就業による適正な受注・就業管理に努めた結果、就業中の事故発生を防ぐことができました。

2 会員の拡大

会員の減少に歯止めをかけるべく、会員・役職員が新規会員一人獲得運動と口コミによる入会促進活動を継続して実施、さらにハローワーク鉦路に開設された「生涯現役支援窓口」や鉦路市、民間の就労支援団体などにも協力を要請し、リーフレットの備え付けを実施したほか、鉦路市広報紙への会員募集掲載、更に1月～3月には新規入会促進キャンペーンを昨年引き続き実施し、新規会員の掘り起こしに努めました。

また、入会希望者に対してはコロナ禍後も随時受付を継続して実施することとし、入会手続きが迅速に進むよう対応いたしました。

3 就業機会の確保

鉦路市やハローワーク鉦路、民間の就労支援団体などとも連携し、働く意欲のあ

る高齢者のための新たな就業先の開拓などの取り組みをおこないました。5類相当に緩和されたコロナ感染症が中々終息しない状況や発注先と会員とのミスマッチ、釧路地域における産業界の不振、特定職群の会員不足等が解消されず受注を断らざるを得ない状況も改善されませんでした。

4 会員組織体制の検討

会員減少の影響による地域班や各ブロックの役割、女性会員増強と活躍の場や交流の場確保・提供、職群班のグループ就業推進などに取り組みましたが、インフルエンザの流行や新型コロナの再拡大を受けて、地域会員との対話の場である地域班会議が全地域で4年続けての開催断念となりましたが、「いきいき 女性の会」によるスマホ教室を開催するなど、徐々に活動を広げる取り組みをおこないました。

5 普及啓発・地域支援サービス事業の推進

センターホームページやSMSなどインターネットを活用した情報の発信や、釧路市広報誌への記事掲載、ハローワーク・釧路市・民間職業相談所などにリーフレットを配布するなど、シルバー人材センター事業のPR活動をおこないました。

また、高齢者などから依頼が多い掃除・除草・家具移動などの生活支援業務を会員の協力のもと、できる限り受注し就業機会を提供いたしました。

6 事業運営等に関する調査研究

発注者の多様なニーズの把握と分析、会員の後継者不足が深刻化している職種への今後における課題の分析、シルバー事業の環境変化に対応するため、センターと会員とのコミュニケーションツールのデジタル化によるセンター業務の効率化推進に向けた会員対象のスマホ教室を開催し、利用普及への取り組みをおこないました。

また、事務局体制については、公益社団法人としての事業運営に係る事務の適正化・効率化を一層高め、事務局職員の情報分析力向上を図るために、オンラインによる研修会、講習会を積極的に活用いたしました。

7 一般労働者派遣事業の推進

適正就業ガイドラインを周知し、請負・委任にはなじまない事案の点検を行い、北海道シルバー人材センター連合会の実施事務所として、一般労働者派遣事業を実施し、高齢者の多様な就業形態に対応する取り組みをおこないました。

年齢別正会員数（令和6年3月31日現在）

区 分	男 性	女 性	合 計	構成比
60歳～64歳	1	1	2	0.4%
65歳～69歳	31	16	47	11.2%
70歳～74歳	82	41	123	29.4%
75歳～79歳	88	41	129	30.8%
80歳以上	87	31	118	28.2%
合 計	289	130	419	
平均年齢	76.8歳	76.0歳	76.5歳	